令和6年度 年間授業計画

教 科:家庭科 科 目:家庭総合 単位数:2

対象学年:第2学年

佐田数 材	教科書:	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)
使用教材	補助教材:	最新 生活ハンドブック 資料&成分表(第一学習社)

教科 (家庭科)の目標

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて 理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るととも に、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 (家庭総合)の目標

【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家族や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、 自分や家庭、地域生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

生涯の生活設計 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 講及び技能	次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。				
人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解す 生涯の生活設計 ら。	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解し				
** L \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \					

(3考力、判断力、表現力等 数材	思考・判断・表現				
生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及 教科書・副教材等職業生活について考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	0	0	0	0
⊉び に向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度				
生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組む態度を育てる。 課題提出、調べ学習	・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	1			
1 青年期の自立と家族・家庭及び社会 指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
指導事項	知識・技能				
生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解する。 人の一生、家族・家庭、これからの家庭生活とそ家族・家庭の機能と家族関係、法律について理解する。	社会 ・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 ・家族・家庭の機能と家族関係、法律について理解している。	1			
家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解する。	・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。				
3.考力、判断力、表現力等 数材	思考・判断・表現				
家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役 教科書・副教材等 別を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして、考察したことを根拠に基 がいて論理的に表現する。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	()	0	0	
上びに向かう力、人間性等 一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
青年期の自立と家族、家庭及び社会について, 課題の解決に主体的に取り組んだり, 振 返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	・青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
4元 衣生活の科学と文化 指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
10歳及び技能 指導事項	知識・技能	1			
被服構成や被服製作について科学的に理解する。	・被服構成や被服製作について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 ・日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解している。 ・身体特性と被服の機能及び着装について理解している。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理を理解している。				
	思考・判断・表現				
エプロンを使用する場面を想像し、目標を設定するとともに、実習ごとに作業を振り返 教科書・副教材等	・エプロンを使用する場面を想像し、目標を設定するとともに、実習ごとに作業を振り返 リーゼルテルと、 した良くのされたの気があませればいる。	0	0	0	
「振り返りシートに良くできた点や反省点をまとめる。 日本の衣文化の継承、目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。	り、振り返りシートに良くできた点や反省点をまとめている。 ・日本の衣文化の継承、目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見 いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。				
せびに向かう力、人間性等 人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度	1			
被服製作に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組む。 衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し りして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	・被服製作に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 ・衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
:明考査(期末考査)/返却と解説		0	0		+

令和6年度 年間授業計画 科目 (家庭総合)

単元の具体	本的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当日
単元	衣生活の科学と文化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技		指導事項	知識・技能				
・衣生活の ・被服材料	成や被服製作について科学的に理解する。 の自立に必要な技能を身に付ける。 科や被服管理について科学的に理解する。 を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解する。	被服製作、被服の入手、被服の管理、これからの衣生活	・被服構成や被服製作について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 ・被服材料や被服管理について科学的に理解している。 ・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解している。				
思考力、判	判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
り、振り返	ンを使用する場面を想像し、目標を設定するとともに、実習ごとに作業を振り返 区リシートに良くできた点や反省点をまとめる。 を取り巻く課題について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理 する。	教科書・副教材等	・エプロンを使用する場面を想像し、目標を設定するとともに、実習ごとに作業を振り返り、振り返りシートに良くできた点や反省点をまとめている。 ・衣生活を取り巻く課題について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理 的に表現している。	0	0	0	
学びに向か	かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
・衣生活の	乍に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組む。 の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し 生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・被服製作に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 ・衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
単元	持続可能な消費生活・環境	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技	支能	指導事項	知識・技能				
	舌の現状と課題について理解する。 重要性、消費者保護の仕組みについて理解する。	情報の収集・比較と意思決定、購入・支払いのルールと方法	・消費生活の現状と課題について理解している。 ・契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。				
思考力、判	判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
・消費生活的に表現す	舌の現状と課題について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理 する。	教科書‧副教材等	・消費生活の現状と課題について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理 的に表現している。	0	0	0	
	かう力、人間性等	一人 1 台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
学びに向か		課題提出、調べ学習	・生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
・生活にお	おける経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改 して、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。		苦したりして、生活の允夫向上で図ったのに失成しようとしている。				

令和6年度 年間授業計画 科目(家庭総合)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時
単元	持続可能な消費生活・環境	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識刀	及び技能	指導事項	知識・技能				
につい・生涯	費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援など いて理解する。 涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解する。 活における経済と社会との関わりについて理解する。	消費者の権利と責任、生涯の経済生活、家計のマネジメント、これからの経済生活	・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解している。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解している。 ・生活における経済と社会との関わりについて理解している。				
思考之	力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよ 責任ある消費について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表 る。	教科書・副教材等	・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	0	0	0	6
学びに	に向かう力、人間性等	一人 1 台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改 たりして、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	課題提出、調べ学習	・生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
単元							
+70		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	及び技能	指導事項	知識・技能				
・住生 ・日z	生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解する。 生活の計画・管理、快適で安全な住空間について理解する。 本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解する。 沈族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解する。	住生活の変遷と住居の機能、安全で快適な住生活の計画、 住生活の文化と知恵、これからの住生活	 ・住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解している。 ・住生活の計画・管理、快適で安全な住空間について理解している。 ・日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解している。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。 				
思考之	力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	災などの安全、環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造、に で問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。	教科書・副教材等	・防災などの安全、環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造、について問題を見いだして、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	0	0	0	1
₩781	に向かう力、人間性等	一人 1 台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
7.0.1		課題提出、調べ学習	・住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
· 住生	生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し して、生活の充実向上を図るために実践する態度を育てる。		たりして、主点の元夫両上を図るために失成しようとしている。				
・住生たりし			たりして、主点の先来国上を図るために失致しようとしている。	0	0		